

中國第一歷史檔案館編

乾隆帝起居注(八)

廣西師範大學出版社

中國第一歷史檔案館編

乾隆帝起居

注

(八)

廣西師範大學出版社
· 桂林 ·

第八册 目錄

乾隆十四年（公元一七四九年）

正月	
初一日	（一）
初二日	（一）
初三日	（一）
初四日	（三）
初五日	（四）
初六日	（四）
初七日	（五）
初八日	（七）
初九日	（七）
初十日	（九）
十一日	（九）
十二日	（一〇）
十三日	（一〇）
十四日	（一〇）
十五日	（一一）
十六日	（一一）
十七日	（一三）
十八日	（一五）

二月	
初一日	（一七）
初二日	（一九）
初三日	（二〇）
初四日	（二二）
初五日	（二二）
初六日	（二三）
初七日	（二六）
十九日	（二七）
二十日	（一九）
二十一日	（一九）
二十二日	（一九）
二十三日	（二〇）
二十四日	（二一）
二十五日	（二一）
二十六日	（二二）
二十七日	（二四）
二十八日	（二四）
二十九日	（二五）

初八日	(三七)
初九日	(四〇)
初十日	(四三)
十一日	(四五)
十二日	(四六)
十三日	(四八)
十四日	(四九)
十五日	(五二)
十六日	(五三)
十七日	(五六)
十八日	(五八)
十九日	(六二)
二十日	(六三)
二十一日	(六三)
二十二日	(六四)
二十三日	(六五)
二十四日	(六七)
二十五日	(六七)
二十六日	(六九)
二十七日	(六九)
二十八日	(七〇)
二十九日	(七一)
三十日	(七三)

三月		
初一日	(七五)
初二日	(七六)
初三日	(七六)
初四日	(七七)
初五日	(七八)
初六日	(八〇)
初七日	(八一)
初八日	(八四)
初九日	(八五)
初十日	(八六)
十一日	(八七)
十二日	(八八)
十三日	(八九)
十四日	(八九)
十五日	(八九)
十六日	(九〇)
十七日	(九〇)
十八日	(九一)
十九日	(九二)
二十日	(九二)
二十一日	(九二)

四月

初一日	(九七)
初二日	(一〇〇)
初三日	(一〇〇)
初四日	(一〇一)
初五日	(一〇二)
初六日	(一〇四)
初七日	(一〇六)
初八日	(一〇八)
初九日	(一〇九)
初十日	(一一三)
十一日	(一一四)
十二日	(一一六)
十三日	(一一七)
二十四日	(九四)
二十五日	(九四)
二十六日	(九五)
二十七日	(九五)
二十八日	(九六)
二十九日	(九六)
二十二日	(九二)
二十三日	(九三)

五月

初一日	(一四五)
初二日	(一四五)
初三日	(一四七)
初四日	(一四八)
初五日	(一四九)
初六日	(一五〇)
初七日	(一四〇)
初八日	(一四一)
初九日	(一四三)
初十日	(一四四)
十一日	(一三五)
十二日	(一三四)
十三日	(一三四)
十四日	(一三四)
十五日	(一三五)
十六日	(一三八)
十七日	(一四〇)
十八日	(一四一)
十九日	(一四三)
二十日	(一四四)
二十一日	(一四五)
二十二日	(一四七)
二十三日	(一四八)
二十四日	(一四九)
二十五日	(一五〇)
二十六日	(一五〇)
二十七日	(一五〇)
二十八日	(一五〇)
二十九日	(一五〇)
三十日	(一四四)
十四日	(一一九)
十五日	(一二一)
十六日	(一二三)
十七日	(一二六)
十八日	(一二六)
十九日	(一二九)
二十日	(一三〇)
二十一日	(一三一)
二十二日	(一三一)
二十三日	(一三四)
二十四日	(一三四)
二十五日	(一三五)
二十六日	(一三八)
二十七日	(一四〇)
二十八日	(一四一)
二十九日	(一四三)
三十日	(一四四)

初五日	(一四八)
初六日	(一四八)
初七日	(一四九)
初八日	(一五〇)
初九日	(一五〇)
初十日	(一五二)
十一日	(一五四)
十二日	(一五五)
十三日	(一五六)
十四日	(一五七)
十五日	(一五七)
十六日	(一五九)
十七日	(一六二)
十八日	(一六四)
十九日	(一六四)
二十日	(一六七)
二十一日	(一六八)
二十二日	(一六八)
二十三日	(一六九)
二十四日	(一七〇)
二十五日	(一七〇)
二十六日	(一七〇)
二十七日	(一七三)
二十八日	(一七三)

二十九日	(一七四)
六月		
初一日	(一七七)
初二日	(一七八)
初三日	(一七九)
初四日	(一七九)
初五日	(一七九)
初六日	(一八〇)
初七日	(一八一)
初八日	(一八三)
初九日	(一八三)
初十日	(一八五)
十一日	(一八六)
十二日	(一八八)
十三日	(一八九)
十四日	(一九一)
十五日	(一九二)
十六日	(一九三)
十七日	(一九五)
十八日	(一九六)
十九日	(一九七)
二十日	(二〇一)

七月

初一日	(二一六)
初二日	(二一六)
初三日	(二一七)
初四日	(二一八)
初五日	(二一九)
初六日	(二二〇)
初七日	(二二三)
初八日	(二三四)
初九日	(二三四)
初十日	(二三四)
十一日	(二三四)
三十日	(二二二)
二十九日	(二二一)
二十八日	(二二一)
二十七日	(二〇九)
二十六日	(二〇八)
二十五日	(二〇七)
二十四日	(二〇五)
二十三日	(二〇四)
二十二日	(二〇三)
二十一日	(二〇二)

八月

初一日	(二三七)
初二日	(二三七)
三十日	(三三五)
二十九日	(三三五)
二十八日	(三三五)
二十七日	(三三五)
二十六日	(三三三)
二十五日	(三三三)
二十四日	(三三一)
二十三日	(三三一)
二十二日	(三三一)
二十一日	(三三一)
二十日	(三三〇)
十九日	(三三〇)
十八日	(三二九)
十七日	(三二八)
十六日	(三二七)
十五日	(三二六)
十四日	(三二六)
十三日	(三二六)
十二日	(三二五)

初三日.....(二三七)
 初四日.....(二三八)
 初五日.....(二三八)
 初六日.....(二三八)
 初七日.....(二三九)
 初八日.....(二三九)
 初九日.....(二三九)
 初十日.....(二四〇)
 十一日.....(二四一)
 十二日.....(二四一)
 十三日.....(二四一)
 十四日.....(二四二)
 十五日.....(二四二)
 十六日.....(二四三)
 十七日.....(二四三)
 十八日.....(二四三)
 十九日.....(二四四)
 二十日.....(二四四)
 二十一日.....(二四四)
 二十二日.....(二四五)
 二十三日.....(二四五)
 二十四日.....(二四五)
 二十五日.....(二四六)
 二十六日.....(二四七)

九月

二十七日.....(二四七)
 二十八日.....(二四七)
 二十九日.....(二四八)
 初一日.....(二五〇)
 初二日.....(二五〇)
 初三日.....(二五〇)
 初四日.....(二五一)
 初五日.....(二五一)
 初六日.....(二五二)
 初七日.....(二五二)
 初八日.....(二五二)
 初九日.....(二五三)
 初十日.....(二五四)
 十一日.....(二五四)
 十二日.....(二五五)
 十三日.....(二五六)
 十四日.....(二五七)
 十五日.....(二五七)
 十六日.....(二六〇)
 十七日.....(二六〇)
 十八日.....(二六〇)

十月

初一日	(二七八)
初二日	(二七八)
初三日	(二八〇)
初四日	(二八四)
初五日	(二八七)
初六日	(二九三)
初七日	(二九五)
初八日	(二九八)
初九日	(三〇二)
十九日	(二六〇)
二十日	(二六一)
二十一日	(二六二)
二十二日	(二六四)
二十三日	(二六五)
二十四日	(二六六)
二十五日	(二六六)
二十六日	(二六六)
二十七日	(二六七)
二十八日	(二七〇)
二十九日	(二七一)
三十日	(二七三)

初十日	(三〇二)
十一日	(三〇五)
十二日	(三〇五)
十三日	(三〇七)
十四日	(三〇八)
十五日	(三一〇)
十六日	(三一〇)
十七日	(三一〇)
十八日	(三一三)
十九日	(三一六)
二十日	(三一〇)
二十一日	(三一〇)
二十二日	(三一三)
二十三日	(三一三)
二十四日	(三一四)
二十五日	(三一五)
二十六日	(三一六)
二十七日	(三一七)
二十八日	(三一七)
二十九日	(三一九)
三十日	(三二五)

十一月

初一日.....(三三七)
 初二日.....(三三八)
 初三日.....(三四〇)
 初四日.....(三四〇)
 初五日.....(三四三)
 初六日.....(三四四)
 初七日.....(三四六)
 初八日.....(三四七)
 初九日.....(三五〇)
 初十日.....(三五一)
 十一日.....(三五一)
 十二日.....(三五二)
 十三日.....(三五二)
 十四日.....(三五三)
 十五日.....(三五五)
 十六日.....(三五八)
 十七日.....(三五九)
 十八日.....(三六一)
 十九日.....(三六一)
 二十日.....(三六四)
 二十一日.....(三六四)

十二月

初一日.....(三七四)
 初二日.....(三七四)
 初三日.....(三七六)
 初四日.....(三七九)
 初五日.....(三八〇)
 初六日.....(三八一)
 初七日.....(三八一)
 初八日.....(三八五)
 初九日.....(三八六)
 初十日.....(三八九)
 十一日.....(三九一)
 十二日.....(三九二)
 十三日.....(三九四)

二十二日.....(三六五)
 二十三日.....(三六六)
 二十四日.....(三六六)
 二十五日.....(三六六)
 二十六日.....(三六八)
 二十七日.....(三六九)
 二十八日.....(三六九)
 二十九日.....(三七一)

十四日·····	(三九七)
十五日·····	(四〇〇)
十六日·····	(四〇三)
十七日·····	(四〇四)
十八日·····	(四一四)
十九日·····	(四一八)
二十日·····	(四一九)
二十一日·····	(四二〇)
二十二日·····	(四二〇)
二十三日·····	(四二〇)
二十四日·····	(四二〇)
二十五日·····	(四二一)
二十六日·····	(四二二)
二十七日·····	(四二三)
二十八日·····	(四二三)
二十九日·····	(四二三)
三十日·····	(四二四)

乾隆十四年歲次己巳正月初一日庚戌

上以元旦詣

奉先殿

堂子行禮畢率諸王貝勒貝子入八分公民公侯伯

內大臣侍衛大學士都統尚書子侍郎學士

副都統等詣

皇太后宮行慶賀禮畢各官俱於午門外隨行禮畢

上御中和殿升座內大臣侍衛暨內閣翰林院禮

部樂部都察院詹事府等衙門官員行慶賀

禮畢

御太和殿升座諸王貝勒貝子文武大臣官員

及來朝外藩貝勒貝子公台吉等朝鮮諸國

陪臣俱進表行慶賀禮畢詣

大高殿

壽皇殿

弘仁寺

闡福寺行禮畢回

宮

是日

起居注官襄曰修程景伊鶴年奉寬

初二日辛亥

上詣

壽康宮請

皇太后安

是日

起居注官永世王際華

初三日壬子

上奉

皇太后於

重華宮進酒是日大學士張廷玉來保奉

諭旨國家崇禮

先聖先賢秩祀惟謹闕里

文廟祭器自

皇考世宗憲皇帝時製造頒發宮墻美富穆然見隆

古典型乃者各

壇廟升馨薦享亦既志用古制矣惟茲

元聖周公廟及四氏先賢祠朕於東巡之次特命

脩葺今輪奐翼如而器具未備非所以重明禋

將誠恪也該撫準奏其飭有司遵定式敬謹成

造俾奠獻几楹執事有恪肅鉅典焉又奉

諭旨東省連歲歉收朕心深為廛念多方賑恤加

意培養上年雖獲有秋而元氣尚難遽復著加

恩將該省自乾隆六年至十二年舊欠銀一百

九十二萬一千六百餘兩統於庚午年起分作

五年帶徵庶輸將稍易小民得以寬舒該部即

遵諭行知該撫飭屬通行曉諭實力奉行無致

胥役作弊滋擾以副朕軫念窮黎之意又奉

諭旨署川撫班第奏秦川北道鹿邁祖昭化一帶

係其本管又奉委總理應備夫馬該員漫不經

心以致京兵阻滯一籌莫展惟極訴民情之疲

憊夫馬之艱難呈請罷斥以圖卸責其玩悞之

咎實難寬貸等語軍旅乃國家重事一切供億

即派之民間亦分誼所當然况現在俱係發價

絲毫不以累民此本朝良法鹿邁祖身任道員

不能實心經理貽悞軍興轉以民情疲憊為詞

欲博無知愚民之感頌其沽名邀譽搖惑人心

情罪可惡與訥親張廣泗相等即正法亦所應
得且使朕以苑囿宮殿之娛動衆興作而地方
官直陳民勞為之請命乃出於忠愛之忱所當
褒美今以軍旅重事國家所不得已而怠玩疎
忽藉此干譽其居心實不可問國家不能保無
用兵之事若不嚴加治罪無以示儆鹿遶祖重
革職於成都加號示衆俟凱旋之日交部從重

定擬

是日

起居注官文保程景伊

初四日癸丑

上詣

壽康宮請

皇太后安是日大學士張廷玉來保奉

諭旨大學士伯張廷玉

三朝舊臣襄贊宣猷敬慎夙著朕屢加曲體降旨令
其不必向早入朝而大學士日直內廷寒暑固
間今年幾八袞於承旨時朕見其容貌少覺清
減深為不忍夫以尊彝重器先代所傳尚當珍
惜愛護况大學士自

皇考時倚任綸扉歷有年所朕御極以來弼亮寅工

久近一致實乃勤勞宣力之大臣福履所鍾允
為國家祥瑞但恭奉

遺詔配享

太廟予告歸里誼所不可考之史冊如宋文彥博十
日一至都堂議事節勞優老古有成模大學士
紹休世緒生長京邸今子孫統膝良足娛情原
不必以林泉為樂也著於四五日一入內廷以

脩顧問城內郊外皆有賜第可隨意安居從容
几杖頤養天和長承渥澤副朕眷待耆俊之意
且令中外大臣共知國家優崇元老恩禮兼隆
而臣子無可已之日自應鞠躬盡瘁以受殊恩
俾有所勸勉亦知所安心盡職又奉

諭旨此次大兵進勦金川一切催趙官兵稽查驛
站馬匹等事所有欽差大員如尹繼善舒赫德

皆因經畧大學士傅恒公忠體國勤勞任事舉
能感動奮勉星速馳驅調度得宜於軍行甚有
裨益朕甚嘉悅前已降旨將尹繼善草職畱任
之案加恩開復今尚書舒赫德經過一路地方
日馳二百餘里而且留心整頓諸事查辦妥協
殊屬可嘉著一體交部議叙

是日

起居注官鶴年顧汝修

初五日甲寅

是日

起居注官朱蘭泰龔渤

初六日乙卯大學士張廷玉來保奉

諭旨山東鄒平等二十州縣衛上年被水偏災而
萊州府屬之平度膠州等處為獨重雖經降旨

多方賑恤但按月計算此時賑務將次告竣去
麥秋尚遠積歉之區青黃不接朕心深為憂念
著將被災最重之平度膠州高密昌邑四州縣
無論極次貧民概行加賑一個月被災稍重之
新城金鄉魚臺濟寧博興樂安六州縣極貧之
戶加賑一個月仍照前例銀穀兼賑其餘災輕
之處及時借糶以濟民食該撫準奏其督率屬

員實心辦理務俾窮黎安居力作以待麥秋慰
朕軫恤之意又經畧大學士傅恒奏小金川土
舍良爾吉與漢奸王秋等朋比為奸洩漏軍
機臣至小金川乘其來迎帶至軍營即行斬
首梟示蠻婦阿扣已令即於小金川正法良
爾吉頭人蒼旺及王秋俱在黨堪當行文岳
鍾琪令將蒼旺就彼地正法王秋俟其解到

確訊寔以極刑其二子之現在軍營者亦皆
即已正法等因一摺奉

諭旨經畧大學士初至軍營即能斬除賊黨處若
無事朕實嘉悅從此賞罰嚴明大功之成朕計
日以待之該部知道又奏臨戎伊始未盡分寸
之力即蒙優叙臣實晝夜不安請收回
成命停止議叙一摺奉

諭旨覽卿奏辭已悉謙冲但如卿之忠誠實力即
議叙亦不足以盡朕嘉悅之懷不必固辭該部
知道

是日

起居注官周長發興泰

初七日丙辰

上至靜安莊

孝賢皇后梓宮前奠酒是日大學士張廷玉來保
奉

諭旨經畧大學士傅恒奏報小金川土舍良爾吉
漏洩軍機洩兄奸嫂罪惡貫盈已於十二月二
十一日在軍門梟示土婦阿扣於二十三日在
美諾正法傳首梟示漢奸王秋拏赴卡撒俟審
明寔以極刑其二子亦俱即日伏法等語前據

張廣泗力言良爾吉王秋不可輕動恐致滋事且於拿問時向鄂實稱侍衛此行我只謂未辦良爾吉之事此事斷不可辦如欲殺良爾吉阿扣王秋非先殺總督不能張廣泗之始終庇護良爾吉等如此則軍前諸人皆明知其罪而疑畏不敢先發今經畧大學士傅恒甫至軍營即不動聲色取兩年逋寇如檻豚豕以快人心

而警者衆非謀猷明斷識力堅定曷克臻此即此已當優叙但經畧大學士傅恒於從前議叙之案現在具摺懇辭若此案仍交部議叙無以善全冲挹之美其前因出口步行勤勞過甚所賜雙眼雀翎想接到時亦必謙讓未戴今即以爲經畧大學士此者酬庸之典如仍執意謙讓是乃不遵朕旨達爾黨阿舒赫德亦必力勸方

是至王秋以王者師王者賓名其二于此即與邪逆夏如春等無異漢奸心懷不軌造言生事大率類是各省督撫平日必當留心凡涉此等名目多係叵測之徒即應嚴行查察究寃不可視為泛常著通行傳諭知之經畧大學士兩摺併發又奉

諭旨前因川省糧運浩繁需員經理曾派出雲貴

湖廣河南等省道府同知等三十餘員令其前往差委但各該員俱有本任應辦事務未使缺員著吏部於應用道府司員及候補候選道府同知內速行揀選帶領引見候朕酌量分發各該省委用

是日

起居注官陳大齡奉寬